

「脚下照顧」



『松坂投手と東国原宮崎県知事と安倍首相』の関係

レッドソックスの松坂大輔投手が記念すべきメジャーリーグ初登板で見事に10奪三振を奪う活躍で初勝利をあげました！パチパチパチ！私も目覚ましを朝3時にセットしてこの60億円のプレッシャーを背負った『勝負師』の勇姿をTVに噛り付いて見ていました。

この快挙に全米のメディアも日本のメディアも絶賛の嵐でしたが、1番興味を引いたコメントを残したのはソフトバンクの王監督でした。

『何かあるとすぐに批判したが人達が多い風潮の中、有無を言わさぬ実力を発揮したことは本当に素晴らしいことだと思う』といったようなニュアンスのことをコメントされていました。王監督という人は野球人である前にやはり人格者だなと思いました。

王監督の言われるとおり、本当に最近のメディアはただ単に面白がって言葉の揚げ足を取っている、あるいは言葉狩りをしているだけではないかと感じるときが多々あります。

そのまんま東改め東国原宮崎県知事の会見でも、なんとか失言を探そうというような雰囲気になりがちで、そこにしか報道陣のスポットが当たってなく、彼が今現在挑んでいる『勝負師的な輝き』に誰もスポットを当てないのが不満でなりません。

本来、これだけ四面楚歌のような状況の中であれば、秘書に当たり障りのない文章を書かせてそれを棒読みしていればいいものを、さすが北野武の1番弟子だけあって、獲物を狙うような目をした外見上は人道的な羊を装っている日本のメディアに取り囲まれながらも、台本なしで、ユーモアを交えながら、まっすぐに目を見開いて政策を語る、という無謀なチャレンジをしているわけですから、これはもう下手な講談を聞いているよりよっぽどエキサイティングで面白く、スピーチやディベートの勉強にもなると思うのですがどうでしょうか？ただし、あまりにもつまらないメディアに意固地になりすぎて自滅したり、政策がおろそかになってしまうという一抹の不安はあるのですが。。。

そして不安といえば、日本の若き首相安倍総理です。この方は歴代の首相を親戚に持つ政界のサラブレッドであり、王子様であり、実はこの方もかなりな『勝負師』であると思います。

『美しい国日本』という理想を高く掲げ、失態続きの閣僚に足を引っ張られながら、『何が美しいだ！どこが美しいだ！』と嫉妬心とコンプレックスが混ざり合ったような怨念を事あるごとにぶつけてくるマスコミに対して、常に視線は遠くを見つめ、これくらいのパッシングは了解済みといった風な達観した表情で勝負しています。

先日、この若きリーダーに対して、閣僚がぜんぜん敬意を表していないという事がニュースになりました。安倍首相が閣僚会議で席に着く前に勝手に席についたり、雑談をやめなかったりややりたい放題で、見かねた男気のある中川幹事長が『あんたらええ加減にせんかい！！』と思わず言ったとか言わなかったとか。。。

このニュースを聞いて自分は、安倍首相は本当に王子様だなあと感じました。もし仮に安倍さんが地方出の、よくいる『ボス猿』タイプの政治家だったなら、事あるごとに閣僚一人ひとりに恩を売り、仁義を結ばせ、従わせると思うのですが、『王子』ですから、そんな品のないことはしません。そもそも人を傘下に治めて、それで自分のプライドが満たされるようなタイプではなく、人々から矢のような批判を浴びようが最終的には自分のなすことが正しく、その結果として人々を幸せに出来、自分を批判していた人をも幸せに出来たとき初めてプライドが満たされるといったような非常に高いところにプライドが存在している為、つまらないメディア攻撃にはノーガードで臨んでしまう可能性があります。安倍総理を見ていてどうも不安に駆られてしまうのはそのせいのような気がします。ノーガードな王子様でなおかつ勝負師なのです。

そんな安倍首相が首相になる前に1冊の本を書いていて、我々の5S(ハチエス)活動にもリンクしているので抜粋します。

『飲み終わったジュースの空き缶を自宅に持って帰って処分することを思うと、確かに面倒くさい。損得で考えれば、その場に捨てていったほうが楽だ。そこを捨てずに、あえて持ち帰る為には倫理的規範とともに、損得ではない、なにか情動のような基準が必要になる』

難しい文章ですが、自分たちの職場に置き換えると、『誰も見ていない機械室の中で夜遅くへとへとになっても、最後の4Sで床をウエスで丁寧に拭いてから帰れるかどうかは、自尊心にかかっている』ということだと思います。自尊心とは行動できた自分を誇らしく思う心、自分を裏切らず大切に思う心。そのようなものだと思います。

しかし『口に出して言うことと実際に行うことを一致させることは非常に難しい』とあのお釈迦様でも言われているくらいですから、かなりの困難を伴います。自分の心の中の大多数が『やめとけ、もうええ、ええかっこすんな！しんどい！損！損！』と大合唱している中を一人決断して勝負する『勝負師魂』が必要です。

テクア魂とは勝負師魂を育てることと見たり！



感謝！ 羽原篤史

